



広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会



2007年3月号
Shokuni

春到来、桜のつぼみに
気分はもう満開!?

誰もが心待ちにしている桜の開花、今年のお弁当は...なんて、いち早くお花見計画に心弾ませている方もいるのでは...?

主な内容

- P2 特色のある活動団体の紹介**
平成18年度住民自治組織活動功績団体表彰
最優秀賞受賞団体 地縁団体法人 こぶし団地自治会
- P3 会員紹介** 企業会員：株式会社 武蔵野銀行
団体会員(県域団体)：生活協同組合 さいたまコープ
- P4 特集** あなたの町にも悪質事業者はやってくる!!
～悪質商法の被害に遭わないために～

お知らせ

・会員紹介への掲載を希望される会員の方を募集しています。希望される会員の方は、事務局まで御連絡ください。
・「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。
詳細については事務局へお問い合わせください。(60マス×4行程度での記載になります。)

彩の国コミュニティ協議会会員&賛助会員募集!!!

当協議会では、コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

- 会員
 - 種別：企業会員・県域団体会員
 - 会費：企業1口5,000円を2口以上 県域団体1口5,000円を1口以上
 - 賛助会員
 - 個人を対象としています。
 - 会費：1口2,000円
- 特典 入会記念としてコバトンストラッププレゼント!(賛助会員のみ)



特色のある活動団体の紹介

平成18年度住民自治組織活動功績団体表彰 最優秀賞受賞団体
地縁団体法人 こぶし団地自治会

住民自治組織活動功績団体表彰とは、住みよい地域社会づくりの活動に特に顕著な功績をあげ、他の住民自治組織の活動のモデルとなるような自治会等の地縁による住民自治組織に対し贈呈されるものです。平成18年度は以下の団体が入賞しました。

最優秀賞	地縁団体法人 こぶし団地自治会(所沢市)
優秀賞	木崎自治協力会(さいたま市) 岩沢六道自治会(飯能市)
	広野二区自治会(嵐山町) みさと第四住宅管理組合(三郷市)



最優秀賞を受賞した「地縁団体法人 こぶし団地自治会」の活動について紹介します。

この自治会では、防犯パトロールや盆踊り大会等でコミュニティの輪を深める他、全住民の出資により消費生協を設立したり、診療所を開設するなど住民の生活支援に貢献する活動を行っています。

また、万への備えとして実施している様々な防犯活動は他を抜きんでており、今回の受賞となりました。



こぶし自治会館

こぶし団地自治会とは!?

「こぶし団地」は、昭和41年に民間企業の労働組合が中心となり自主的に建設した団地です。

団地の名称は入居者からの募集により、団地が勤労者の団結の所産であることの記念、且つ「こぶしの花のような綺麗な街にしよう」という願いを込めて命名されました。

自治会では、団地を23ブロックに分け、各ブロックごとに1名ずつ役員を選出し、毎月第3日曜日に定例役員会を開催し運営にあたっています。

現在は、団地の全世帯(1,000世帯)に加え近くの民家が加入し、1,030世帯を会員として活動しています。

緊急連絡先の登録制度

現在、こぶし団地でも高齢化が進み、平成15年には65歳以上の独居老人は89名にのぼりました。

そこで、高齢者住民の緊急時に団地外に住んでいる子どもや親族に連絡をとる手立てとして、「緊急連絡先の登録制度」を設けています。



これは、自治会にあらかじめ緊急時のための連絡先を登録しておき、万一の緊急事態の際には、自治会が登録連絡先に連絡をとるものです。

また、高齢者への支援として緊急連絡先の登録制度以外に、高齢者生活支援センターを設け高齢家庭の庭木の剪定、門灯交換等の高所作業などをボランティアで行っています。

「災害援助友好協定」の締結

新潟県中魚郡津南町とは、所沢市から津南町まで2日間かけてのリレーマラソンを行うなど草の根レベルの交流を続けてきました。

そんな中、阪神大震災が起き、「もし関東で大きな震災が起きた時には津南町はこぶし団地自治会を支援する」との話があり、津南町に団地の敷地の一部を提供し、津南町の物産品を販売するとともに、都市と農村交流の場として平成7年に「津南ふれあいセンター」を設置しました。

この施設には、販売するための米が常時地下倉庫に備蓄されており災害時の救援米の役割も担っています。

また、その他に事務室や和室があり、万一の災害時には救援センターの役割を果たすものと考えています。

この施設の開設を機に平成8年に津南町と「災害援助友好協定」を締結しました。



津南ふれあいセンター

連絡先 地縁団体法人 こぶし団地自治会

所沢市こぶし町22-10 04-2995-5545

企業会員

株式会社 武蔵野銀行

武蔵野銀行は、豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展していく「地域共存」、変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスの提供を行う「顧客尊重」の二つを経営理念としています。この経営理念のもとに地域社会との関係を重視していくことが社会的使命と考え、さまざまな取り組みを行っています。

当行は、社会福祉活動の一環として埼玉県に対して身体障害者用リフト付大型バス「おおぞら号」の寄贈を行っており、昭和48年の1世号以来、合計5台を寄贈しています。昨年4月に寄贈した「おおぞら5世号」は人にも地球



(おおぞら5世号)

にも優しい作りとなっています。車椅子に乗ったまま安全に乗り降りができることはもちろんのこと、排出ガス低減システムを搭載したCO₂排出量が少ない車両でもあり

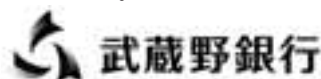
ます。年間3,500人以上の障害者の方や、障害者ボランティア団体の研修旅行等にご利用いただいています。



(武里支店のロビー展)

また、文化振興活動の一環として、当行では支店のロビーを活用した作品展を開催しています。地域の保育園や幼稚園・学校はもちろん、個人やグループの方の絵画や写真、創作品等の展示を行ない、ご来店されたお客さまにご覧いただいています。

私ども武蔵野銀行では地域の皆さまに安心してお取引いただくことはもとより、地域の皆さまとの関わりを大事にしています。



株式会社武蔵野銀行

<http://www.musashinobank.co.jp>

団体会員
(県域団体)

生活協同組合 さいたまコープ

さいたまコープの概要

さいたまコープは、73万人の県民が加入している生協です。県内に53の店舗と全域を網羅する17の配送センターを有し、食を中心にふだんのくらしに役立つ商品や福祉事業、共済・旅行などの総合的なサービスを提供しています。

また、さいたまコープの理念である「CO-OP ともに はぐくむ くらしと未来」の実現に向けて、食、環境、子育て福祉等の貢献活動を行っています。

子育て支援・男女共同参画

さいたまコープの施設を利用して子育て支援をひろげるための「親子ひろば」を運営しています。平成17年に子育てひろば「Cocco(コッコ)ルーム」を開設した「リリヴ北本」



(荻野吟子賞表彰式)

は、女性パート職員の活用・職域拡大や、地域の子育て支援などの取り組みが評価され、埼玉県が男女共同参画社会づくりに貢献のあった個人・団体を表彰する「第2回さいたま輝き荻野吟子賞」を受賞しました。

安心・共生・平和な社会

1. ユニセフ募金に累計2.6億円

昭和60年からユニセフ活動の募金(ハンドインハンドなど)に取り組み、平成7年「ユニセフ募金埼玉事務局」の委嘱を受けました。その後「埼玉県支部」が発足し、その事務局を担っています。

募金の累計額は約2.6億円になっています。

2. 災害時の支援

災害時も県民生活に役立つため、平成8年に埼玉県と応急物資に関する協定を締結しました。その後、埼玉県、さいたま市などの防災訓練にも参加しています。また、「阪神・淡路大震災」(平成7年)「新潟中越地震」(平成16年)の復興支援、三宅島島民帰島支援(平成17年)などに取り組みました。



環境保全の取り組み

1. レジ袋削減と環境保全への募金

家庭ゴミの削減や地球温暖化防止を願い、平成10年から組合員と一緒にレジ袋の削減に取り組んでいます。レジ袋を使用する方に環境募金をお願いし、その募金を環境保全団体への支援や緑のトラスト基金への募金(累計1000万円)としています。レジ袋を1年間におよそ1,125万枚削減しています。

2. 環境保全の啓発活動

店舗を中心に14ヶ所で「子ども環境教室」を行い1394人が参加しました。また、「エコライフDAY2006埼玉」を6月と12月にとりくみました。34,000人が参加し21,700kgのCO₂を削減しました。

さいたまコース

生活協同組合さいたまコープ

<http://www.coopnet.or.jp/saitama/>

現在、私たちの周りには、さまざまな危険やトラブルがあふれています。こうした危険やトラブルは外出しているときだけに巻き込まれるものではありません。特に悪質商法に関しては、皆さんが「家の中」にいる時を狙ってやってくるのです。点検商法、電話勧誘販売、SF商法、送りつけ商法等、最近の悪質商法は巧妙で多種多様なものになっています。

こうした悪質商法からあなたの身近な人たちを守るためには、一人ひとりが行動を起こすことが重要です。

家族や友人の方たちと悪質商法について話し合ってみる、ご近所の高齢者の方に注意を呼びかけたり、地域の集まりで、このパンフレットを紹介していただくなど、簡単なことから始めることができます。

1 点検商法

「無料で点検する」といって来訪し、点検した後に、「ダニや湿気がひどい」「健康に悪い」「今すぐ工事をしないと危険」などと不安感をあおり、「今なら特別に安くする」と、巧妙に契約を勧め、工事や商品・サービスを契約させる商法です。

[主な商品・サービス]

浄水器、シロアリ駆除、床下換気扇、布団類、屋根工事、耐震工事など

[対処方法]

長時間、居座って契約を勧める悪質な業者もいます。突然、「点検する」と来訪されたら、十分に警戒しましょう。

点検の様子をビデオや写真で説明したりする業者もいますが、本当に自宅のものかよく確認しましょう。

最初は「無料」といいながら、勝手に作業をして法外な料金を請求する悪質な業者もいます。代金はすぐに支払わず、周りの人などに相談しましょう。なお、クーリング・オフ期間内であれば、撤去費、材料費などの請求を受けることはありません。

高齢者宅に頻繁に業者が点検にあらわれて、次々と契約をさせるケースもあります。知らない人は家に上げないようにしましょう。



2 SF(催眠)商法

「健康に関する講習会に来てください」「新商品を紹介する」などといって人を集め、会場で日用品を無料か無料同然で配り、得した気分させ、巧みな話術で雰囲気盛り上げ、興奮状態にしておいて、最後に高額な商品売りつける商法です。

最近では、会場の出入り口に、「出入り自由」などと書いた紙を貼って、オープンな場所であるかのように表示する悪質なケースもあります。

[主な商品・サービス]

布団類、家庭用電気治療器具、磁気治療器具、健康食品など

[対処方法]

「もらえるものはもらわないと損」などと考えないこと。帰りにくい雰囲気になってしまいます。タダより高いものはありません。

「自分は大丈夫」と思っている、会場では冷静な判断ができなくなる場合があります。安易に会場に行かないようにしましょう。

高齢者の健康に対する不安につけこむ場合が多いので、注意が必要です。



消費生活に関するご相談・お問い合わせは消費生活センターやお近くの市町村窓口へ(相談は無料です)

- 消費生活支援センター 048-261-0999 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1街区 2階
- 消費生活支援センター川越 049-247-0888 川越市新宿町1-1-1 川越地方庁舎分館
- 消費生活支援センター春日部 048-734-0999 春日部市大沼1-76 県春日部地方庁舎2階
- 消費生活支援センター熊谷 048-524-0999 熊谷市箱田5-13-1

[受付時間] 月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:30~12:00 13:00~16:00

県では、消費者が悪質事業者によるトラブルに巻き込まれるのを防ぐために、「くらしの契約トラブル」と題して、悪質商法や架空請求などの事例やトラブルに巻き込まれた際の対処法など、消費生活に関する様々なテーマについて、出前講座を実施しています。県内であれば、いつでもどこでも、昼夜休日を問わず、県職員がみなさまのところにおじゃましてご説明いたします。(無料)

多数のお申し込みをお待ちしております。お気軽にお申し込み下さい。

消費生活関連講座「くらしの中の契約トラブル」県民・消費生活課... (048-830-2935)

「くらしの中の商品テスト」消費生活支援センター..... (048-261-0982)